

保育者育成と地域子育て支援を担う「保育実践研究センター」が主催  
**「多様性ってなんだろう？」をテーマに公開研究会を開催**

児童発達が専門領域の教員陣が多様性をテーマに登壇

文京学院大学は、教諭・保育士を対象とした公開研究会を、2017年7月1日(土)、ふじみ野キャンパスにて開催します。この公開研究会は、学生の実習の場と地域の子育て支援を目的に設立した「保育実践研究センター」が主催し、当日は「多様性ってなんだろう？」をテーマに本学教員からの話題提供をはじめ、グループディスカッション、パネルディスカッションを参加者と共に実施します。

### 保育実践研究センターについて

「保育実践研究センター」は、2004年、人間学部児童発達学科の学生の実習の場と、地域の子育て支援の場作りを目的に本学内に設立されました。同センターは、地域の親子向けに場を提供している子育て支援施設「ふらっと文京」を運営しており、学生にとっては乳幼児と直接触れ合う保育実習の場に、また、地域利用者にとっては、子育て仲間を広げる交流や、保護者としての学びを得る場としても活用されています。

### 公開研究会について

公開研究会は、当センター主催で毎年1回開催している勉強会で、今年で13回目を迎えます。現場で働く保育者や関係者など毎年約60名が集まり、設定されたテーマに沿って毎年議論を行います。今年のテーマは「多様性ってなんだろう？」です。当日は同センターに所属する教員6名が出席し、それぞれの専門領域に関する講演やディスカッション等を行います。



昨年の様子

### 開催概要について

日時：7月1日(土) 13:00~16:00

会場：本学 ふじみ野キャンパス W201  
(埼玉県ふじみ野市亀久保 1196)

内容：「多様性ってなんだろう？」

- ✓ 各教員からの話題提供(約60分)
  - ・子ども理解と援助の多様性
  - ・子どもの支援の多様性
  - ・親の多様性
  - ・教員の多様性
- ✓ グループディスカッション(約50分)
- ✓ パネルディスカッション(約40分)
- ✓ 質疑応答

#### <登壇する教員陣>

- ・加須屋裕子 教授 (専門:心理言語学など)
- ・椛島香代 教授 (専門:幼児教育学など)
- ・鳩山多加子 教授 (専門:保育者指導の評価など)
- ・小栗俊之 教授 (専門:幼児・児童・若年層の健康など)
- ・柄田毅 准教授 (専門:聴覚言語障害学など)
- ・森下葉子 准教授 (専門:発達心理学など)

#### < 文京学院大学について >

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5,000人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターンシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。